

[課題図書及び活動] ※2期生・3期生合同実施

担当教員	服部 篤子	所属	政策学部政策学科
テーマ	読書とフィールドから学ぶ「多様性」の力		
活動期間	<p>2021年5月～9月</p> <p>3月 塾生オリエンテーション (概要説明)</p> <p>4月 課題図書の通読</p> <p>5月22日(土) 2～4講時(今出川) 第1回学習/「問いを立てる」 事前に提出した課題図書の要約を用いた討論およびヒアリングの準備</p> <p>6月26日(土) 2～4講時(京田辺) ヒアリング/「『認知』について知る」 本学脳科学研究科の教員にグループ単位でヒアリングを実施</p> <p>7月17日(土) 2～4講時(今出川) 第2回学習/「問いを見直す」 図書とヒアリングから得た考察の共有とフィールドワーク準備</p> <p>8月上旬 フィールドリサーチ (学外) (※) 福岡県大牟田市もしくは奈良県奈良市等を候補地として検討中 夏期休暇中(9月) 2～4講時(今出川) セッションの振り返り、個人発表</p>		
活動のねらい	<p>□活動のねらい</p> <p>社会的格差は、新型コロナウイルス感染症を経て顕著に外在化してきました。この問題は何が課題か、実態を把握すること、そのうえで、多様な人々を受け入れる社会の創造を考え実践することが求められます。本セッションでは、特に超高齢社会における格差の視点から、多様性とは何かを考える機会を作ることを企図しています。</p> <p>例えば、超高齢社会×多様性として認知症を取り上げ、認知症に優しいまちづくりを謳う地域のフィールドリサーチを行うなどを予定しています。</p> <p>読書を通じて学び、実際の現場で体感することで自らの意見をもつこと、そして、幅広い観点から知見を得て議論する姿勢をもつことを目的とします。</p> <p>なお、任意参加として、秋学期に、本セッションを通じて得た知見を確かなものとし社会に還元するために一般向け小冊子を作成します。脳科学、社会科学の専門家や住民から得た意見を踏まえてまとめていきます。</p> <p><u>※このセッションは、2期生・3期生が合同で活動します。</u></p> <p><u>※このセッションは、学外での活動を行います。</u></p> <p>8月上旬の夏季休暇期間中に1泊ないし2泊の日程で、宿泊を伴う国内フィールドワークを行う予定です。</p>		

活動の流れ	<p>(※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況や社会情勢によっては、例えば2期生のみ現地で参加、3期生はZOOMによるオンライン参加とするなど内容変更または実施を取りやめる可能性があります。 フィールドワーク実施の可否は、5月7日時点の情勢で判断します。</p> <p>□流れ（追記：4月5日）</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題図書2冊についてレジュメを作成し、5月12日（水）12：00までに提出します。提出先は、事務局が設定したTeamsを原則とし、各自アップロードしてください。 (2) レジュメは、各章ごとに作成します。注目すべき箇所、疑問を感じた箇所について抜き書きをしておきます。作成にあたって不明な点は1, 2期生に確認することを推奨します。 (3) 第1回学習日はグループに分かれ、書籍を用いて論点整理を行います。最初に「福祉の哲学とは何か」その後、「認知症フレンドリー社会」から得た学びや疑問について話し合います。なお、2冊目の課題図書については、途中で筆者とオンラインでつなぎ、質疑応答をする時間をもつとともに、塾生の考えに対するコメントをもらいます。 初回は問いを見出すことをゴールとし、最後に、次回の「認知」に関するリサーチの準備を行います。 (4) 第2回学習日はグループに分かれて脳科学研究科の教員にヒアリングを実施します。第1回学習日で見出した「問い」に沿って、質問を準備し事前学習をしておく必要があります。グループ間で事前に検討し、質問内容についてはTeamsで共有します。 (5) 第3回学習日は書籍とヒアリングから明らかになったことを発表しこれまでの「問い」を見直す作業を行います。事前にヒアリングから得た情報を整理し、必要に応じて更なる学習を進めます。 その後、フィールド調査に向けて対話を行います。そのためには、フィールドリサーチ先について事前に知り得る内容を持ち寄るなど準備をして臨む必要があります。 (6) フィールドリサーチ終了後、全体を通して学んだことを整理し「多様性を受容する社会」に関するレポートを作成します。9月の振り返り時に各自発表し今後の課題を見出します。 <p>□事前課題 課題図書2冊を読み、概要をまとめておく。</p> <p>□事後課題 フィールドリサーチ後のレポートを事後課題と位置付けます。レポート内容について最終回に発表を課すため、様式、枚数、提出期日、提出先等の詳細は、フィールドリサーチ時に別途指示します。</p>
課題図書1	福祉の哲学とは何か：ポスト成長時代の幸福・価値・社会構想
図書情報1	広井良典、ミネルヴァ書房、2017年 ISBN-13：978-4623077885
課題図書2	認知症フレンドリー社会
図書情報2	徳田雄人、岩波書店、2018年 ISBN-13：978-4004317494